



環境リモートセンシング 研究センター

Center for Environmental Remote Sensing

Newsletter No.222

千葉大学環境リモートセンシング研究
センター ニュースレター 2024 年 5 月
発行：環境リモートセンシング研究センター

(本号の編集担当：市井和仁)

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

Tel: 043-290-3832 / Fax: 043-290-2024

URL: <https://ceres.chiba-u.jp/>

大学院融合理工学府地球環境科学専攻リモートセンシングコース 令和 6 年度入試説明会

令和 6 年千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻リモートセンシングコースの入試説明会を、5 月 25 日に 102 講義室と Zoom オンラインのハイブリッド形式で開催しました。対象は 2024 年 10 月入学もしくは 2025 年 4 月入学を希望する志望者で、今年度は学内から 10 名、学外から 14 名、海外から 4 名、合計 28 名の参加者がありました。

説明会は入江コース長の挨拶から始まり、市井学務委員から募集要項の内容に沿って入試に関する説明がありました。参加者の各研究室訪問の前には、教員が 3 分程度で各研究室の特色を説明しました。その後、参加者は興味のある研究室を訪問し、個別に教員から研究内容の詳しい説明を受けました。今年度は 8 月 6 日に博士後期課程、8 月 16 日に博士前期課程の入試が実施される予定です。一人でも多くの熱意を持った学生が受験してくれることを期待しています。

(学務委員・本郷千春)



大学院入試説明会の様子

ムーンショット目標 8・海上豪雨生成プロジェクト 第二回合宿 ～ 小槻・岡崎研究室通信・第 36 号 ～

2023 年 8 月にムーンショット目標 8 にプロジェクト採択頂いたコア研究課題「海上豪雨生成で実現する集中豪雨被害から解放される未来」は、4 か月の作り込み期間を経て 2023 年 12 月にスタートしました。小槻がプロジェクトマネージャー (PM) を務め、気象、防災、数理、情報、画像工学、法学、倫理などの分野から 20 名を超える研究代表者 (PI) が参画しています。5 月 14-15 日、プロジェクトの第二回全体合宿を行いました。

総勢 50 名ほどの参加者があり、二日間に渡り活発な議論が行われました。なかなか、会を主催する側になると、「参加してくれる皆さんが楽しんでくれるのか？」というのが心配になりますが、プロジェクトマネジメント班の準備・サポートもあり、有意義な会になったのではないかと思います。大橋さん・岩田さん・中村さん・曾我さん・嶋村さん・研究室メンバーの皆様、サポート有難うございました。

大きなプロジェクトのマネジメントは初めてですが、今のところそれなりに研究は上手く動いている

のかなと、勝手に思っています。自分なりに考えてみましたが、1つの理由は、単純にサイエンスとして面白いのだと思います。「気象制御」を対象にした研究ですが、私自身は、これまで専門としてきたデータ同化を、カオス・逆問題と制御・潜在空間表現・誤差逆伝播・深層学習など他の側面から見つめなおす機会となり、一人の学者として成長できている気がします。もう1つの理由は、気象制御が Issue として面白い問題であり、優秀な若者を惹きつけられているのだと思います。引き続き、若者の力を引き出せるように、努力したいと思います。(小槻峻司)



2024 年 5 月 14-15 日・プロジェクト合宿にて @ 千葉大学

EarthCARE の打ち上げ成功！

5 月 29 日（日本時間）、欧州宇宙機関（ESA）と宇宙航空研究開発機構（JAXA）が共同で開発・運用する地球観測衛星 EarthCARE（Earth Cloud Aerosol and Radiation Explorer）—愛称「はくりゅう（白龍）」— が、スペース X 社のファルコン9 ロケットによってアメリカ合衆国カリフォルニア州ヴァンデンバーグ宇宙軍基地から打ち上げられました。EarthCARE は雲やエアロゾルの全球観測を行い、気候変動予測精度の向上を目指します。EarthCARE には、雲プロファイリングレーダー（CPR）、大気ライダー（ATLID）、多波長イメージャー（MSI）、広帯域放射収支計（BBR）の4つのセンサーが搭載されています。CPR は日本が開発を担当しました。他は欧州が開発を担当していますが、ATLID からエアロゾルや雲の光学特性プロダウトを導出するアルゴリズムの開発は日本が担当しています。これらのプロダクトを検証するために、CEReS が主導している SKYNET ネットワークや関連の深い国立環境研究所の AD-Net ライダーネットワークの利用が計画されています。

この打ち上げのタイミングで、SKYNET の重要な南半球の拠点であるニュージーランド・ローダー（Lauder）においてスカイラジオメーターによる観測が 11 か月ぶりに再開されました。また、SKYNET、AD-Net、A-SKY の共通サイトである千葉大学大気環境観測スーパーサイトにおいて、ライダーによる観測が 13 か月ぶりに再開されました。(入江仁士)



上)ニュージーランド・ローダー (Lauder) の観測サイトの様子
 右)千葉大学大気環境観測スーパーサイトで再稼働したライダーの写真



The observation site in Lauder has reopend. | SKYNET (irie-lab.jp)
 Lauder (New Zealand) | Data | SKYNET (irie-lab.jp)
 LIDAR observations at the Chiba site have resumed. | A-SKY (irie-lab.jp)
 Chiba (Japan) | Data | A-SKY (irie-lab.jp)
 GALION AD-Net (nies.go.jp)

CEReS 研究室メンバー顔合わせ会をしました

5月20日(月)18時より、R6年度の CEReS 新入生・新人歓迎会・顔合わせ会を開催しました。今年度からは各研究室の有志学生による実行委員会が主体となって準備・企画を行い、去年同様、工学部同窓会の松韻会館にて飲食ありの対面形式で実施しました。教員・研究員、非常勤職員、学生合わせて62名(教職員18名、学生46名)の参加者があり、学生実行委員が考案したレクリエーションを通して研究室を超えた交流ができたのではないかと思います。センター内の親睦がさらに深まることで今後の活動の活性化に繋がればいいと思います。

(実行委員会代表：本郷研究室／森貴之)



服部センター長による乾杯



レクの様子